

“経営に知恵と革新”

平成 28 年 10 月 1 日発行（隔月発行）Vol.731 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2016 年 9・10 月号



当会新会長・青木幸江氏

衆議院議員・細野豪志氏

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

65TH ANNIVERSARY

第50回 経営士全国研究会議 高松大会

一般社団法人日本経営士会創立65周年記念大会は香川県・高松での開催となります。

ビジネス・イノベーション・アワード第7回B.I.A2016の表彰式も併せて実施致します。

地域活性化と会員皆様と地域の方々との交流を目的に「講演会・論文発表・懇親会」などを行います。

皆様のご参加をお待ちしております。



日時：平成28年10月16日（日）～17日（月）

会場：JR ホテル クレメント高松

住所：〒760-0011 香川県高松市浜ノ町1-1

包括テーマ

「地域経済圏から考える地方再生」

～創意・情報・環境～地方創生に向けた支援業務でお仕事チャンスを

楽しい企画と四国の美味しいお料理をご用意して、

四国支部一同 心よりお待ちしております！

INDEX

『対談』 衆議院議員細野豪志氏と青木幸江会長	4
第50回経営士全国研究会議の最終ご案内	6
『特集』 MMP	8
NJKだより / 女性経営士の会 NJK活動報告	11
イベント ジャパントラックショー	12
寄付講座 / 産能大冠講座実施報告	14
寄付講座 / 第2回嘉悦大学「冠講座」修了する	15
第5回「プロ・コンサルタント育成講座」修了	16
オーシャンズ第19回定例会の実施	17
環境経営士の活躍事例	18
支部活動報告	
東北支部	20
北関東支部 栃木県会	22
北関東支部 新潟県会	23
埼玉支部	24
近畿支部・「経営士の提言」募集	25
台湾支部	26
インフォメーション・養成講座開催案内・研究会案内・名刺広告募集・著書案内	27
広告	28

マネジメントコンサルタント (Management Consultant)

発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F

Tel : 03-3239-0691 Fax : 03-3239-1831

<http://www.keieishikai.com>

Copyright©2016 AMcj. All Right Reserved. Page Design:Kenichi Aoki & Yukinori Kitayama. & ZENT Inc.

SPECIAL TALKING

衆議院議員

新会長

細野豪志氏 × 青木幸江

日本経営士会の新会長に選出された青木幸江女史。

ある吉日、衆議院議員・細野豪志氏と日本の経営環境と将来の展望に関する意見を交わしました。その一部をご紹介致します。

青木 私たちの日本経営士会は今年で創業 65 周年になります。経営コンサルタント集団として主に中小企業を支援してきましたが、士業ということでコンサルタントも会員の経営者の方も男性ばかりでした。今はネイルサロンや料理教室など従業員が 100 人くらいいらっしゃる会社の女性経営者も多く、女性に開けた会にしようと私は初めて女性会長になりました。実際、女性のソフトパワーはすごいですよ。社会進出をもっと前進させるには、ベビーシッターに補助金をつけることです。私の事務所では女性が 16 人いてそのうち 3 ~ 4 人が短時間外れますが、やりくりがたいへんです。中小企業は補助金を出してくれたらかなり助かります。もうひとつは地方問題。当会の会員は全国にいて年 1 度地方で大会を開きますが、地方は人口が減って中小企業はたんへんな状況にあり、コンサルタントの方々も相当な努力をされています。

細野 政府は企業負担の軽減策として法人税軽減や派遣法改正をやろうとしていますが、東京を中心に大企業はよいが地方や中小企業は厳しいです。各企業が強く感じているのは社会保険料の負担で、少なくとも中小企業が新規正社員を雇う差額を負担軽減すれば、正社員はそういう増えると思われます。女性には人生の選択で制約にならないよう扶養控除を夫婦控除制に変えるとか、企業をサポートして育児休暇の所得補償を 7 割から 10 割に近づけるとか環境を整えていかねばなりません。経営者と働いている人の両方の気持ちを理解してバランスよく負担を軽減し、地方も中小企業もよくなるようにしていかねばならないのですが、まだその火はついていませんね。



青木 定職につけず非正規やフリーター化する人が増大する一方、将来の年金不安が現実味を帯びて、若い人が希望をもてなくなっています。親は歳をとって子供は職がない。助成金を少しもらっても、すぐに打ち切られる。何か仕組みを考えないと、日本の将来が危ぶまれます。

細野 社会保険の負担と給付のバランスが崩れています。親の世代はよいが、私の世代で収支トントンか若干のマイナス。20代は負担の方がそうとう多い。日本の構造的な問題です。高齢者で資産のある方でも働いていなければ社保負担が少なく、安くサービスを利用できる。収入が少なく資産のない若い人に高齢者の負担をするのは無理なので、こういう点は改めていかねばなりません。

青木 最近の政治では日本のよい点を声高に吹聴するのに違和感があります。自信のなさの裏返しではないかと。ナショナリズムが変な形で出てきて怖い気もします。また、民進党は共産党と組んでいますが細野さんはどう思われますか。

細野 共産党とは税制や自衛隊のあり方などでそうとう距離感があります。政権復帰をめざす意味では認識として明確に違うといわざるを得ない。一方でナショナリズムの標榜は、近視眼的なやり方として有効かもしれないが、長い目でみればよくない。ほんとうに自信のある人は謙虚で、ひけらかしたり他国を卑下したりしないものです。北朝鮮のミサイルや中国の南シナ海進出などには対処しなければならないが、それ以外では抑制していかねばなりません。若い人で中国や韓国のこといろいろいう人がいるとと思いますが、これらの国に友人が一人でもいればそういうことは言えなくなる。交流難の時代に乗り超えていくのはとてもよいことであるし楽しい。昔、小渕内閣の時に善隣外交と言って日中韓で学生交流やスポーツほかいろいろやったことがあった。これを ASEAN（アセアン・東南アジア諸国連合）を含めやっていったほうがよい。アジアそして太平洋、その先には中近東もアフリカもあり、開けます。



11月14日に東京・六本木ヒルズクラブにて開催します、日本経営士会創設65周年の記念ランチョンパーティーの特別講演者として細野豪志氏をお越しください。興味深いお話を期待ください。

LAST ANNOUNCE

第50回 経営士全国研究会議 高松大会の最終ご案内！

～こんぴら・喰うかい・u d o n 県へおいでまい～

日本経営士会の執行役員も一新、新たな経営士会としてスタートし、そんな中で全国研は第50回という節目の年を迎えました。その記念となる大会を四国支部が主管で行なえるということは、支部会員一同栄誉に思い、開催成功に向け現在一丸となって準備中であります。

今回はマネジメント誌を通じて、最終のご案内をいたします。お申し込みがまだの会員様や、迷っている会員様は是非この機会に四国高松にお越し下さいませ。

包括テーマ「地方経済圏から考える地方再生」

サブテーマ「～創意・情報・環境～地方創生に向けた支援業務でお仕事チャンスを！」

日時：平成28年10月16日（日）午後1時30分より

10月17日（月）正午まで

会場：JRホテルクレメント高松

住所：〒760-0011 香川県高松市浜ノ町1-1 TEL：087-811-1111

JR高松駅改札を出て正面すぐ

高松空港よりシャトルバスで正面玄関到着

URL：<http://www.jrclement.co.jp/>

参加費：会員 20,000円 / 会員同伴者 14,000円 / 一般参加者 10,000円

初日会議での講演は、四国財務局長によるわが国の「財政について」と、テレビなどでは辛口でおなじみの経済評論家で株式会社経世論研究所所長三橋貴明氏による「真・地方創生 交通インフラの整備が地方経済を再生 分科会と並行して行なうのが香川大学学生研究発表とNJK女性経営士の

会による「地方発地方再生」フォーラムになっております。大学生による画期的な研究発表と大学教授と経営士会会員によるパネルディスカッションを計画しております。こちらもご期待ください。

懇親会では地元の食材を使用した料理を堪能いただきながら法螺貝と讃岐獅子による迫力あるコラボの演出をご鑑賞ください。そのほか、毎年恒例のお楽しみイベントも控えています。若手会員の発案によるもので、例年と切り口が違うかもしれません。

そのほか、エキスカーションは改めて紹介させていただきますが、以下の魅力ある3コースとなっております。どのコースも支部会員による厳選されたものです。

Aコースのうどん本陣山田家は、以前イノベーションアワードでも表彰された企業であり、老舗のうどん屋さんです。東京ソラマチにも出店しており、マスコミの取材もたくさん来ている話題のうどん店です。（うどん好きには絶対に欠かせないコース）

Bコースの株式会社勇心酒造は酒造会社で倒産寸前の状態から見事立ち直り、今では酒類の売上が全体の1%しかないというミステリアスでユニークな工場見学です。日本酒の試飲や販売、また売上の残り99%を占める商品も体験できます。（日本酒好きには嬉しいコース）

Cコースは四国の背骨四国山脈をくぐり、明治維新の礎、坂本龍馬生誕の地高知です。こちらは雄大な太平洋をご覧頂ながらの宿泊となります。（龍馬の気分となり、桂浜で太平洋を見よう！）

[Aコース] うどん本陣山田家コース

山田家のバスを利用。うどん実費のみ必要。

[Bコース] 勇心酒造見学コース 3,500円

[Cコース] 高知観光&勇心酒造見学 1泊2日コース 19,800円

その他、会員をはじめ出席していただける皆様に満足していただけるよう、全国研に向けて支部会員一同、鋭意準備に邁進しております。小さな支部ではありますが、全国数ある支部の中でも、新入会員が増加拡大中の稀有な支部であり、新進気鋭の若手会員が中心となって皆様のお越しをお待ちしております。

ぜひ、四国の方へ！ おいでまい！ 宜しくお願い申し上げます。

特集 MPP

人材育成事業部担当理事の近藤です。

本年度からMPP委員会並びにMPP普及活動推進グループは人材育成事業部の中に構成して運営していくことになりました。MPP委員会は基本的なルールづくり、ケース審査等を行います。一方MPP普及活動推進グループは内外へのMPP普及のための企画・運営を行います。

昨年度MPPの新作ケースは27件できました。環境の変化とともに、内容もそれに追従した形にして運営してまいりたいと思います。今後とも多くの会員が参画していただき、さらには一般企業・団体様にも普及できるよう運営してまいりたいと思います。ご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

前回の会報誌6・7・8月号で平成27年度MPP取得単位一覧を掲載しました。その中でも、特に高単位を取得された5名の会員に下記の質問をさせて頂き回答をいただきました。

[質問事項]

- ①平成27年度MPP取得単位で高ポイントを得ていますが、積極的に参加された理由はどうしてですか？
MPPを体験することで、何か意識変化はありますか。
- ②MPPの魅力は何ですか。
MPPを体験してどのように活用していますか。
- ③MPPを体験してどのように活用していますか。
- ④その他MPPについての自由感想をお書きください。

近藤 安弘会員 46ポイント取得・南関東支部所属

1. 一般企業・団体様向けに普及活動を図っています。

建設業・電気メーカー・自動車ディーラー・スーパーマーケット・福祉施設など様々な業種で導入いただき、お役に立つようにしています。

2. 「考える」ということですね。日本の教育は知識偏重型で推移してきました。しかし現在大切なのは知識よりも知恵です。

MPPを体験することにより、知恵の創出、判断力の向上、洞察力の深堀りにつながります。

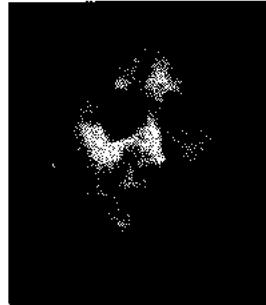
3. 特にMPPは女性経営士の方々に向いています。いきなり高度なコンサルティングは難しいですので、まずはMPPを体験することにより、様々な視点から経営のアドバイスができるようステップアップしていくのが良いと思います。



3.特にMPPは女性経営士の方々に向いています。

いきなり高度なコンサルティングは難しいですので、まずはMPPを体験することにより、様々な視点から経営のアドバイスができるようステップアップしていくのが良いと思います。

4.MPPは日本経営士会で唯一、商標登録している商品です。つまりお宝なのです。しかしこのお宝は放置すると、すぐに陳腐化して紙くず同然になります。そういう性質のものだということを認識する必要があります。たえずケースのメンテを行い、新作を創りお役に立つように磨きをかけてゆきたいと思います。



松永 桂子会員 31ポイント取得・南関東支部所属

1.MPPとはどんなものか判らず、経営について学ぶというイメージが漠然とあり、なかなか参加する機会がなかったのですが、昨年度NJKの理事に就任させていただきNJK主催のMPPが埼玉で開催される企画があり、その際、MPPリーダーになるべく、積極的に参加してポイントを獲得した次第です。必要に迫まれて、と言ったところでしょうか。

2.MPPのケースが実際なるほどと出くわすような事例で身近で親近感を抱く点、またの問題提起に対しての考え方にはいろいろなアプローチ・分析の仕方があることが学べる点、ケースの中から読み取る着眼点が様々であることを体験しました。

また同じ事例でも参加メンバーによって着眼点や経験から結論が様々であることも体験しました。いろいろな業界の世界が知れること（聴けること）、新たな情報や考え方方が吸収できることが魅力です。

3.活用といえるかどうかは、不明ですが、MPPで体験した情報があたまの片隅にあるので、コンサルの際ヒントとなっているように思います。

4.MPPには初めに自己紹介があります。本来はその日、その場で、考えることなのかもしれません、MPPに参加する前の日には、自分を見つめ直す？時間を頂けているような気がします。

瀬尾 寿和会員 35ポイント取得・近畿支部所属

1.近畿支部の体制が、三年前に新体制になりMPP委員会主管も変わり参加メンバーも減少してきましたが、26年度より河上先生を主管にサブ担当として新たなMPP委員会を構築していくことになり、その結果としてのことです。

会としての目標は、山梨県会で実績のある外部活用を近畿でも目指している途中です。

2.ケーススタディでないケースメゾットであるとのお題目にある。個々の多様な考え方や多質性のある意見の討議を通じて日々のコンサルスキルの中でこうあるべきを、強く持ち過ぎ、一義的な思考陥りやすいことを防げる等意識を変換できるツールである。

3.クライアント先での事例研究のトレーニングにて活用。

4.日本経営士会として唯一の特許であるマネジメント・プロフェッショナル・プログラムのアピールが少ない。他の団体などは、独自のノウハウ等、文科省や経産省の外郭教育機関（高等学校・商業科・大学・専門学校・社会人向け等）にPRを行っている。

日本経営士会としての情報発信力が弱いためMPPの普及が進んでいないので、今後取組を強化されたい。（他支部交流も本部主導で）

宇和野 敦子会員 31ポイント取得・近畿支部所属

1.「MPP研究の結果は、参加の機会を増やすほど、高い価値として現れる」と聞き、出来るだけ参加しようと思いました。

2. MPPでは、メンバーの意見にとても刺激を頂いたり、仕事に対するモチベーションにつながっています。

3.今は勤めておりますので、時々経営者の立場で、失敗の原因分析や改善する方法を何通りも考えるようになっています。

次頁に続く ↗

特集 MMP

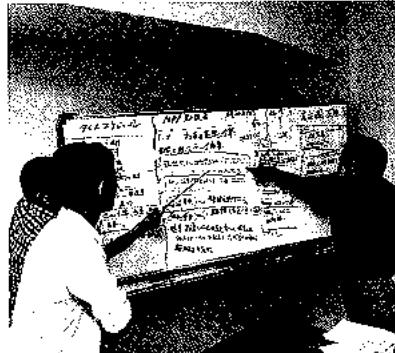
4. 私は介護士でもあり、最初に介護職に関するトライアルケースを書きました。文章の書き方についての指摘や、介護保険などについての質問を受けましたが、分かりやすく説明ができず、説明する事の難しさ、自身の知識があやふやな事に気付きました。MPPに参加させて頂いたことで、物事を深く考える様になり、専門用語を羅列するよりも、平易な誰にも分かりやすい文章を書く力をつけたいと思いました。

河上 晃会員 39ポイント取得・近畿支部所属

「MPP事業部長になったので」という近藤先生（現副会長）の一本の電話から休止していた近畿支部MPP研究会が始まりました。4月には来阪して、MPP事業部の方向性や山梨での経験をご教示いただき、5月より一回／月の開催でスタートしました。

まずは、参加メンバーと活動の方向性やありたい姿（仕事の取れる研究会）を検討し、三か年計画を立てて進めました。さらにメンバーから研究回数増の提案があり、7月からは一日2ケースの研究会を毎月2回開催というハードスケジュールを続けました。

研究会はMPP経験の浅い会員を中心に、既存ケース研究（場数を踏む）と、ケース作成（身近な問題を取り上げる）を続けて、昨年度は近畿支部から17本の新規ケースを申請しました。これからも、MPP研究をおいて中・小規模企業経営者の困っている問題に焦点をあて、関係者と協働（横展開）できる会員外活用に取り組んでいきたいと考えています。そして経営士の職域を開拓していきたいと願っています。皆さんの参加を心待ちにしています。



（近畿支部MPPの様子）

MPPは日本経営士会の宝

MPPは日本経営士会の宝

参加回数を重ねる毎にMPPの本質が見えて来る

思考力の醸成が図られる

人脈の輪が広がる

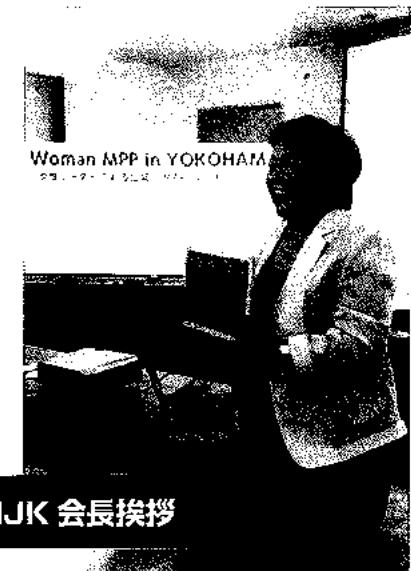
自己研鑽の課題発見・道が拓がる

MPP研究の経験を積むことでMPP方式での活用範囲は広げられる

女性経営士の会 NJK活動報告

今回で第4回になる「女性リーダーによるMPP」が8月28日(日)かながわ県民センターにて開催されました。**2016 Woman MPP in YOKOHAMA**の報告です。NJKが毎年8月最終の土曜日か日曜日に各支部と触れ合う機会を持つ定例活動です。本年は、神奈川支援センターさまとのコラボレーションです。新体制の人材育成事業部の活動の一環としても広く一般の方にも普及活動を広めることを念頭に企画しました。

- ◆目的：会員同士の交流と一般の方へのMPP普及活動
- ◆ケース：「女性管理職の増やし方」(トライアル)
ケースライター上野延城会員
- ◆参加者：36名(内一般参加者7名)
- ◆進行：一般社団法人日本経営士会 会長挨拶
開催地センター長挨拶
NJK主催者あいさつ
人材育成事業部長
副会長挨拶とMPP解説
チーム討議、発表、評価(3時間)
終了後希望者にて懇親会



NJK 会長挨拶

参加者全員で記念撮影



発表風景

初参加の方や外部の方からお礼のメールをたくさん頂きました。

特に多かったのがワークショップ型で導きだすプロセスマネジメントの手法と発表によるアウトプット成果のバランス効果でした。MPPは問題解決型人材育成にはお薦めのプログラムです。他業種との意見交換で得られる情報も大いに参考になったようです。また、女性リーダーの進行は発言がしやすく和やかに進行できるのも喜ばれた一因のようです。来年はあなたの支部で開催しませんか！

NJKは男女の差なく会員が活躍できる機会を増やすお手伝いをしています。
開催希望の支部募集中！

MPPとNJKの力でコミュニケーションの輪を広げましょう。

[お問合せ] TEL: 090-1812-9812 島影 (bzu03624@nifty.com)

ジャバントラックショーに出展

ジャバントラックショー（JTS）2016が一般社団法人国際物流総合研究所の主催で9月1日～3日の3日間開催されました。

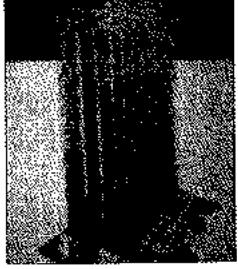
会期中に当会青木会長が講演する予定だけでしたが、主催者である国際物流総合研究所会長と青木会長と友好関係にあり、青木会長の要請で1小間を無償で提供いただき、当会が出展する運びとなりました。

出展について近藤副会長より東京支部、南関東支部、環境CSR事業部が共同出展との指示がありで東京支部他2部署の各担当者が参考し出展について協議を行いましたが、東京支部長より支部内で検討の結果、南関東支部、環境CSR事業部に任せしたいとのコメントがあり、南関東支部と環境CSR事業部が共同で実施することで決定し、出展内容について詰めを行いました。

経営士会の紹介と活動を広報することに重点を置き、経営士が支援している交通・運輸の業界関連で支援している事例を紹介し、経営士会の広報活動につなげるよう計画し、事例の準備や以前使用した看板の流用等コストを最小限に抑え準備を行いました。

事例 - 1 【倉庫・運輸業における公的制度の活用事例】

公的制度を利用した支援企業の事例をパネルで表示、説明する

企業概要	1. 会社名：○○株式会社 2. 資本金：40,000千円 3. 従業員数：10名 4. 営業内容：倉庫・運送業
取り組み内容	当社は危険物取扱倉庫業である。取引先から保管量の増大と保管温度の維持を要望されているが、敷地が狭隘である。高層ラックで収容できる建屋を建設し、入庫から保管、出庫の作業を自動化と入出庫管理ソフトを開発して、受注量増大と作業・管理の効率化を図り、受注の拡大を目指す。 
公的制度活用	1. 経営革新計画承認： 神奈川県知事「新たなサービスの提供方式の導入」の承認を得た。 2. 政府系金融機関から融資：無担保の低利融資を得ることができた。 3. ものづくり補助金の獲得： 27年度補正予算で革新的サービスとして申請し、10,000千円の補助金を獲得できた。 4. 経営力向上計画の承認（予定）： 購入設備の固定資産税軽減と商工中金の融資を申請予定である。
予想される成果	1. 売上高目標：5年度 16.8 2. 付加価値目標：5年後 34%

事例-2 【バーチャルリアリティー（VR）上で 体験する交通安全シミュレーター】



(交通安全シミュレーター体験)

経営士が支援を行っている(株)ラッキーソフト社商品「交通安全シミュレーター」は東京都や各県警で採用されている3D空間での疑似体験型シミュレータで、多くの自治体や学校で高齢者、児童向けに交通安全の体験学習に使用されています。今回の展示会では、物流関係、トラックの設計者、損保関連等の見学者が交通事故をヘッドマウントディスプレイ（HMD）で疑似体験し、事故の怖さを実感していました。開発会社(株)ラッキーソフトはJTSに出展し運送会社の安全管理や交通事故減少に社会的な貢献活動を実施している損保、JA等関連企業に「交通安全シミュレータ」のPRができ、ユーザ情報や引合いの収集、業界のブランド力を上げる事ができたと感謝していました。

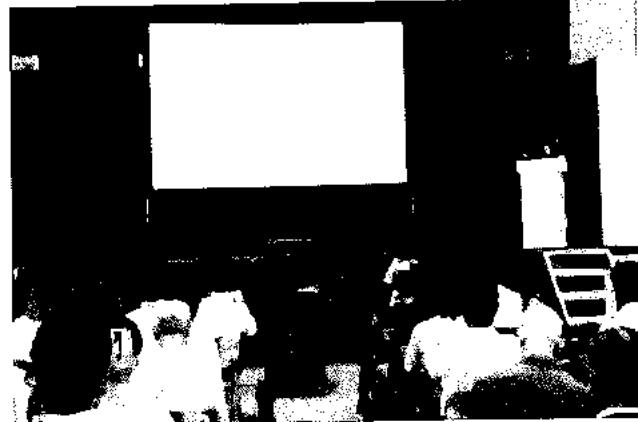
体验後に、パネルによる運輸業支援事例の説明や経営士会の活動案内、養成講座案内、山梨のリターンガイド等のパンフレットを配布し、広報活動を行いました。

会場には、青木会長、近藤副会長はじめ香山専務、竹下様本部総出で応援して頂き本部一部センターが一丸となった広報活動が行われ会場は大盛況でした。

また、会期2日目には青木会長が「助成金活用で積極的な次世代採用を」について講演されましたが会場は多くの聴講者があり満席の状態でした。



(本部や山梨の応援)



(講演風景)

神奈川経営支援センターの皆様の協力で、ジャパン トラックショー3日間を無事終了しました。応援いただいた青木会長はじめ本部の皆様に感謝しますと共に、本部のこれまでにないアクティブな行動力で活動され始めたことを痛感し、本部とさらに強力な連携を取り経営士会を盛りあげて行きたいと思った次第です。

誌上をお借りし協力していただきました会員の方々にお礼申しあげます。(記 津田)

産能大冠講座実施報告

経営士会主催の産能大冠講座を無事終了致しました。本年も梅雨明けの35度以上の中、全国より予定された全員が参加されたことで、安心致しました。

今までと違って8月11日が新しく休日になり、開催日が全体で3日程早くなつた為、大学全体で出席参加者が少なくなったことで、16名と前回の半数以下でした。経営士会への入会希望者は10名でした。初回よりMPPの実施等で仲間作りと中日で軽パーティ等も開催し、充実した3日間を終了することが出来ました。パーティには青木会長はじめ香山専務、各講師も参加されて、入会後の相談など、予想以上のコミュニケーションの場となりました。受講生の皆様には、大変積極的な話題と深堀りされた対話で満足のようでした。毎年増え専門性を要求される講義内容を大学より強く求められております。実際の体験談をリアルにアピール出来るかが勝負になると思います。受講生も年々30代と若い女性が多くなっております。新しい入会者を各支部で温かく迎えて頂きますよう先輩会員にお願い致します。

公益担当理事：香山 務
担当者：佐藤 富夫



(グループ討議)



(MPP の発表の様子)



(MPP の発表の様子)



(講演風景)



(講師と受講生記念撮影)



(懇親会の様子)

第2回嘉悦大学「冠講座」修了する



オプションコース（嘉悦大学「実践経営管理講座」）工場見学 #2 「ジーテクト株式会社＝東証一部上場」 2016年5月23日(月)埼玉工場羽村事業所

今年も4月2日に入学式も終わり、木々の新緑が春光に映える季節となり、いよいよ本格的な春の訪れの頃、我々一般社団法人日本経営士会の提供による冠講座「実践経営管理講座」の講座15回がスタートしました。

今回は4月7日から7月22日迄、毎週木曜日の午後1時から90分間の講義が嘉悦大学で実施されました。

初日は担当講師全員（6名）により学生さんの歓迎のご挨拶と本講座の趣旨＆経営士会のご紹介をさせていただきました。

我々提供の本講座の特徴は「実学の嘉悦大」と言われている嘉悦大学のイメージにぴったりの「実践的経営学」を提供しています。

その内容は、

- ①最近（過去10年間以内）の経験から得た講師メンバーによる企業の各分野の専門家である経営士より経営の実態の習得。
- ②上記の類似ケースを基にMPP思考メソッド手法によりグループディカッションによるStudyをまとめ、報告会を行う。
- ③MPP手法にて学習する事により、目標の決定や将来の洞察力、判断力、意思決定のプロセスを学び、大学卒業後は社会人となり実社会や企画を求められる人材の育成を行う。
- ④進めかたとして1限目には経営の実態の習得（学習）、2限目はグループディカッション&Studyと発表会を行う。
- ⑤上記2限をsetとして合計6set(12回)を実施する。
- ⑥更にオプションコースとして三現主義の現場を確認する為に「会社訪問＆工場見学」を実施して企業の実態の確認、就職活動、先輩企業の訪問を今年度は6回行う予定である（現在3回終了）（尚、昨年度の我々の講座で企業訪問した企業に中国からの留学していた大学院生が一人入社した）

今回の履修生は「ビジネス創造学部」の大学3年次の7人と少人数でしたが、最終的には4人の学生はほぼ100%の出席率で有り大変充実した授業でした。今回の学生の中にも2人の中国人留学生は大変優秀であったことも印象的であり、最終の講師の評価も素晴らしい成績でした。

又、学生からは企業の工場見学により実態の把握が出来、大変有意義な課外活動との評価も得ています。又、今回の機会をとらえて是非東アジアの学生に経営士会に入会していただくように働きかけていこう！と我々講師陣で認識を新たにしました。学生からは来年も本講座を受講したい！との嬉しいコメントも頂き、我々講師も来年の講座を更に充実した企画を織り込んで質の向上を目指す事にしました。（報告者＝森田喜芳）

第5回「プロ・コンサルタント育成講座」修了式



(第5回プロ・コンサルタント育成講座 修了式 2016.7.30 於「アピアン四ツ谷」)

街を七夕飾りが彩っている頃、今回の受講生4名全員により、7月2日（土）から始まって7月30日（土）迄13日間短期集中の育成講座が修了しました。

本講座は従来までの座学による講座から「実習先企業」を訪問して「現場の視察や質問事項」を実習先企業である「菱和工業株式会社」様の経営者および監督者の方々とお打合せをさせていただき、受講生主体のコンサルタント業務の講座をおこないました。

そのコンサルタント業務のまとめを行い「経営力向上のご提案書」を作成して、7月29日（金曜日）に受講生及び講師全員の参加でご報告を行い実習先企業様よりご講評とコメントを頂き、受講生のコンサルタント業務をOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）により実際の業務を初めて体験して、大変有意義な養成講座となりました。

本講座は短期集中講座で、週に3日間の講座も2週間続きましたが、受講生の皆さんと講師もほぼ100%に近い高出席率で受講生と講師の全員が一体となり、講座を盛り上げて実りある養成講座となりました。

今後は本講座終了後も次のステップにてご自身の更に勉強したい点を担当指導講師と一緒になり、その成果を確認していき3~5年後に独立し、プロ・コンサルタント開業に向けての勉強をしていくことになりました。

同時に次回以降の養成講座の講師助手や講師代行業務等を行い、実践の経験を踏んで今後本講座より多くの優秀なプロ・コンサルタントを輩出することを目指しています。

次回以降も新しい受講生の仲間に参加していただき、今回の受講生＆講師と一体になってより良い講座の構築と永続的に多くのプロ・コンサルタント独立を目指しています。

今回はその第1ステップとして、受講生の皆様の今後の活躍を期待しております。

（報告者＝森田喜芳）

オーシャンズ第19回定例会の実施



(オーシャンズ 第19回定例会 2016.9.4. 於 嘉悦大学)

立秋とは名ばかりの暑い日が続く季節のこの時期、9月4日（日）午前10時よりメンバーが集まって恒例のオーシャンズ第19回定例会を実施しました。

今回も3ヶ月ぶりに集まったメンバーは19名で会場も従来の「嘉悦大学院」に戻り盛大に開催致しました。

定刻通り10時より第1部の「道場」に今後の講師の登竜門として門戸をたたいた経営士会養成講座の第42期生中戸川和秀さんに登場いただきました。

「私の人生経験と今後～40代からの今後～」のテーマでお話しいただきました中戸川和秀さんは若くから早々と独立して企業の経営者の喜怒哀楽を語り部としては素敵な話しぶりに聴き手がのめり込む内容の話で、中身の濃い素晴らしい若い人材が今回も誕生したと実感しました。特に学生時代から起業し一度もサラリーマン生活を経験せずに今までの人生を独立起業し、現在に至っているご経験のお話には、参加者全員から賞賛の言葉と質問＆意見の続出で聴き手の我々全員が感心しました。

ランチも恒例による「ポットラック・ランチ」を実施して、参加者の皆さんにより、主食やデザート＆フルーツ、飲み物など、バラエティーに富んだ料理が提供されて、その豪華さと美味しさに参加者全員舌鼓をうって食事時間の1時間はアッと言う間のランチライムでした。今回も梨園より早朝4時のもぎたての「旬の梨」など提供していただき毎回、品物が増えて楽しみなひと時でした。

第2部は恒例により森田会長による「俺流の仕事の仕方#18」で今回は「地名でわかる災害大国、日本～由来を知り、わが身を守る～」は今回初めてのテーマであり、参加者の皆さんからのQ&Aやご意見が有り、次回も同じテーマで再登場でお話をする事に致しました。その後今回で2回目のご登場戴きました欧陽先生より「最近の中国事情」について先日中国から帰国したばかりの最新情報を加えた論理的なお話に参加者全員が熱心に聴かせていただき大変勉強になりました。3人目のスピーカーは今回初めての坪井正治さんは元ホンダのエンジン設計の第一人者による「華麗なる変身、設計者からトレーダー」という内容のお話はご自身の経験とHONDAの教祖「本田宗一郎」との触れ合いから現在の仕事のご紹介を頂き、参加者皆さんも大変興味深く拝聴致しました。最後は恒例による宮原早苗さんによる英語の「ワンポイントレッスン」を全員声を出して学習しました。

第3部の懇親会は花小金井駅近辺の居酒屋でワイワイ・ガヤガヤとアッと言う間の2時間でした。今回も女性を交えてのとても華やかな楽しいひと時を過ごさせていただきました。

“See you again”（報告者＝森田喜芳）

環境経営士の活躍事例

バングラデシュ・クルナ市のウエイスト・ピッカー（有価廃棄物回収人）の社会的差別・偏見の緩和と彼らを巻込んだ地域資源循環型社会の形成を目指して

現在、私は日本環境教育フォーラムの職員として、バングラデシュ・クルナで市内の廃棄物管理改善へ向けた取組みを現地のローカルNGOバングラデシュ環境開発協会と協力しながら進めています。

バングラデシュでは、市がごみの集積や最終処分場（オープンダンピング：野積投棄）までの運搬まで廃棄物処理・管理に関わる一連の責任を担っていますが、ごみの分別やリサイクルは十分に行われていません。

そのような状況の中で、一般的にペットボトル、段ボール、古紙、ガラス類、金属類、電池等を市内の集積場や郊外にあるごみ最終処分場で回収し、仲介業者へ売り渡すインフォーマル・セクターのウエイスト・ピッカー（ごみ拾い人）という人たちがいます。男性だけでなく、女性や子どもがごみ拾いに参画しているのも特徴の一つです。

彼らは、有価廃棄物を業者へ売り生計を立てるためにごみを回収していますが、地域の資源循環から見れば、ごみの分別やリサイクルに貢献し、地域社会の廃棄物管理に重要な役割を果たしていると言えます。現在、クルナ市周辺では、1,000人程度のウエイスト・ピッカーがごみ拾いをしていると推定されていますが、彼らには主として以下の課題を抱えています。

①ごみ処理という汚い労働環境で働くため、社会からの差別や偏見が存在すること。例えば、ウエイスト・ピッカーとわかれば、レストランやホテルに入れてもらえない。

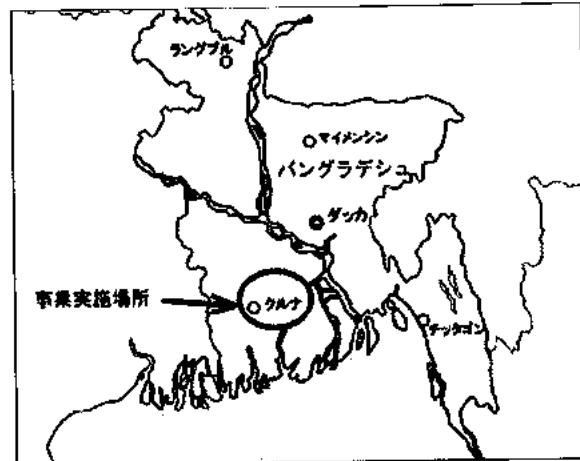
②劣悪な労働衛生環境で働くことによる皮膚や呼吸器系の疾患を患う人が多いこと。

③月の世帯収入が平均3,000～5,000円程度で生計を立てるのが困難な状況にあり、ごみ収集のためのマスク、手袋、長靴等の作業道具を十分に購入することができないこと。

④ウエイスト・ピッカーを含む地域社会全体での環境教育（ごみ教育）が十分に行われていないこと

⑤市、住民、大学教員等の専門家、NGO、ウエイスト・ピッカー等、廃棄物管理関係者の連携やコミュニケーションが不足していること。

これらの状況を改善していくため、バングラデシュ・クルナ市のウエイスト・ピッカーの社会的脆弱性を緩和し、地域社会内の廃棄物管理を改善していくためのモデルケース構築を目指した活動を、三井物産環境基金の助成により2015年10月から3年間の予定で実施し



ごみ最終処分場で有価廃棄物を拾う女性

ています。

→ 2015年10月～2016年9月の1年間では、主に下記の活動を実施しました。

- ①クルナ市役所、クルナ大学、クルナ管区の教育局や環境局、地区的代表者、医者やジャーナリスト等を巻込んだ廃棄物管理委員会の設置や会議の開催。
- ②ウエイスト・ピッカー(101人)への生活・労働状況調査。
- ③ウエイスト・ピッカー40世帯の協同組合化。
- ④衛生教育教材の開発と研修会の開催。
- ⑤識字教育の実施。

2016年10月以降の2年間は、ウエイスト・ピッカー、小中学校の教員、生徒、父兄や廃棄物管理委員会と一緒に、地域社会に適用可能なごみ教育の教材開発・環境教育活動や通りの清掃活動、ウエイスト・ピッカー協同組合40世帯の有価廃棄物ビジネス実証事業、地域社会内廃棄物管理フォーラムの開催や地域社会内廃棄物管理の行動計画指針を作成してクルナ市へウエイスト・ピッカーを巻込んだ廃棄物管理を働きかけていく予定です。



衛生教育研修会



衛生教育研修会へ参加したウエイスト・ピッカーの子ども

本活動は、弊社団の下記ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

http://www.jeef.or.jp/activities/bangladesh_westpicker/

●事業内容に関するお問合せ・ご連絡先

公益社団法人日本環境教育フォーラム

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル1階

TEL: 03-5834-2897, FAX: 03-5834-2898

Email : hideki_sato@jeef.or.jp 担当: 佐藤 秀樹

●執筆者紹介

公益社団法人 日本環境教育フォーラム 国際事業部
チーフコンサルタント / 農村環境計画工キスパート

1973年12月21日

一般社団法人日本経営士会 環境経営士

JICA青年海外協力隊員（派遣国：エクアドル、職種：野菜）、農業・農村開発コンサルティング会社を経て2010年9月から、JEEF国際事業部に勤務。主として、バングラデシュにおいて環境教育の技能を活用した住民による持続可能な地域づくりの活動を実施中。



ウエイスト・ピッカーの皆さんと筆者（中央）

東北支部活動報告

猛暑もようやくやわらいでまいりました。会員の皆様には益々ご活躍のこととお喜び申しあげます。日本経営士会は青木幸江会長、新理事体制のもと、会員あっての経営士会を強く認識した本部組織へと生まれ変わりました。また、東北支部は初めての試みとして東北支部・北関東支部新潟県会との合同公開MPPを実現いたしました。経営士同志お互い切磋琢磨し、プロのコンサルタントを目指しましょう。会員の皆様には後半の研修等に一つでも参加していただきますよう心からお待ちしています。

東北支部長 佐藤光子

第4期経営士養成講座 後半戦に入る

6月11日に開講した第4期経営士養成講座は順調に進行しています。多岐にわたる分野の講義に、刺激を受けた受講生も多いともいます。後半戦も実り多い講座になることを期待します。

～受講者の声～

「MPP理解浸透」を受講して・・・

▶決められた時間の中で、活発に意見を交換したり、それらをまとめて答えを導き出すことの難しさ、面白さを感じることができた。

「マーケティング」を受講して・・・

▶私は現在別の学校でもマーケティングについて学んでいるが、あちらは学術的な内容だったのに対し、今回の講義はより実践的な内容であった。

「業務一般常識」を受講して・・・

▶叱り上手のテクニックはすぐ生かせる内容ですので、持ち帰り、直ちに実行します。

「品質管理」を受講して・・・

▶源流管理、即行動を常に念頭においてお客様や社内での信頼関係を築いていきたい。謹んだ心で本質を見ることの大切さも教えていただいた。

開催日：平成28年7月26日（火）13:30～16:30

開催場所：遊学舎 昭和館2F 大広間（秋田県秋田市）

参加企業：3社

講師：片岡修一会員 テーマ「地域特産品をいかに首都圏に販売するか」

主催者感想

参加企業が3社ということで、主力製品の説明や自社の抱える課題等について中身の濃い意見交換ができた。講演のポイントである連携、複合化、情報発信という点において大変有意義であった。

今後なにか新しい動きが現れるであろうことを実感した。ぜひとも次に繋げるようにしていきたい。

（北東北支援センターセンター長 掛札彰久 記）

石巻開催決定！！

【募集】中小企業会計啓発・普及セミナー&特別講話

<第1部>

対象者：中小企業経営者、管理者、後継者、財務担当者

開催日時：平成28年11月19日（土）13時30分～16時30分

会場：石巻かほくホール（〒986-0827 宮城県石巻市千石町4-42）

定員：30名

講師：一般社団法人日本経営士会 東北支部 庄司芳昭会員

<第2部>

特別講話「経営士とは・・・」 16時30分～17時

講師：一般社団法人日本経営士会 東北支部 深田一弥会員



【募集】平成28年度一般社団法人日本経営士会東北支部 MPP ご案内

庄司孝一会员によるトライアルケース MPP

開催日時：平成29年1月28日（土）14:00～20:00（後泊必要）

会 場：山形県赤湯温泉「上杉の御湯 御殿守」<http://www.gotenmori.co.jp/>
〒999-2211 山形県南陽市赤湯 989番地 TEL.0238-40-2611

アクセス

電車で：東京～（山形新幹線：2時間15分）赤湯

仙台～（仙山線快速：1時間）山形～（奥羽本線快速：30分）赤湯

お車で：東京～（東北自動車道：3時間）福島飯坂IC～（国道13号：1時間）

米沢～（国道13号：30分）赤湯 仙台～（東北自動車道：30分）

村田JCT～（山形自動車道：30分）～山形蔵王IC（国道13号：45分）赤湯

会 費：おひとり2万円程度

日 程：

時 間	課 題	内 容
14:10～14:15	開会	あいさつ オリエンテーション
14:15～16:00	MPP	トライアルケース
16:10～17:40	MPP 内容の発表 (チームに分かれて)	フリーディスカッション
18:00	閉会	
18:30～20:00	懇親会	ディスカッションの不足を ここでカバーする。

赤湯温泉 上杉の御湯 御殿守

(HP、パンフレットより)

開湯900年、赤湯は古くから羽州街道の宿場町として栄えてきた湯仙郷です。

御殿守は上杉家の別荘として温泉を守り、380余年。かの上杉鷹山公も癒された温泉です。



※東北支部活動の詳細はHPの「活動報告」または「支部情報通信」をご覧ください。

北関東支部 栃木県会活動報告

会計セミナー開催とその活用について



栃木県会は、毎年宇都宮法人会・商工会議所で基礎編・応用編を開催してきました。今年は法人会が7月と8月に開催しました。商工会議所は10月の開催を予定しています。今年の法人会は1回約60名、延べにして120名が受講しました。

講師は、ベテランの石田桂久・大垣壽雄会員です。
ここ10年で約1,000名の受講がありました。

これまで、セミナー終了後の受講者との交流を考えないわけではありませんでしたがそのままの状態でした。

そこで、今年はMPPのチラシを作り、セミナー終了時、少々時間をもらいMPPの参加を呼び掛けてみました。

講師による説明はインパクトが強く、数名の申し込みがありました。この数名と会員の紹介者を交え、会員で11月にMPPの開催を決定いたしました。

この開催から次のステップに踏み出せねばと考えています。

従来、会計セミナーは単独でやるものとの考えで、制約を感じて踏み切れていたのですが、ほんのわずかの時間のPRにより、効果の上がるこれらの方法を今後活用していくたいと考えています。

(栃木県会 藤倉恒男)

東北支部・北関東支部新潟県会活動報告

合同公開 MPP 開催報告

北関東支部新潟県会は平成22年より年間事業として「公開MPP」を実施していますが、経営士会全体の改革について佐藤東北支部長との議論の際、支部を超えた情報交換や研修も重要であるとの意見で一致し、東北支部と合同で公開MPPを開催しました。

日 時：平成28年8月27日（土）午後1時30分受付、2時～5時・MPP、5時30分・情報交換会

会 場：NSG学生総合プラザSTEP（新潟市中央区紫竹山6-3-5）

出席者：東北支部：佐藤光子支部長、峯田寿子会員、表伸也会員、佐藤泰男会員、高橋直也会員

新潟県会：磯部正美県会長、木村泰博会員、桑山一宏会員、柴田光榮会員、洲崎直人会員

西山茂会員、渡辺良男会員 / 一般参加：粉川雅人様、樋口圭治様、山添正夫様

特別参加：青木幸江会長、香山務専務理事

今回の東北支部・新潟県会合同MPPは、計画から開催まで短い期間でしたが、東北支部より佐藤支部長をはじめ5名の方々から遠路新潟市までおいで頂き、新潟県会より7名、一般参加者3名に加え、経営士会本部より青木幸江会長と香山務専務理事からもご出席頂き、17名の参加で開催しました。磯部新潟県会長の開会の挨拶に続き、青木会長から日本経営士会の改革に向けた運営姿勢と、「会員のための会にする」との決意のご挨拶を頂きました。

MPPは青木会長と香山専務理事にもチームに加わって頂いて3チームを編成し、新潟県会MPPケース研究会で作成したトライアルケース「S社の事業展開」の、おもちゃ・ゲーム機・携帯電話と時流に乗って拡大してきた事業を、大規模店との競合・短くなった商品のライフサイクル・縮小する市場、といった経営環境の変化に対応する事業課題にどう対応すべきかを討議しました。討議では参加者どうし初めての組合せや、参加会員の専門分野の多様性など、合同開催ならではのチーム構成で活発な討議が展開され、チームごとの発表のあと、香山専務理事より講評を頂きました。会員はもとより、一般参加者からも「大変勉強になった、次回も参加したい」との感想もあり、佐藤東北支部長より、これからも合同で開催しましょうとの意向も示されました。



MPPの後は割烹料理店に会場を移し、MPPケースの議論の続きや、会員それぞれの活動の現況報告などの情報交換で懇親を深めました。また、経営士会の本来の在り方や運営に対する疑問など、いつもの会ではグチになりかねない話題も、青木会長と香山専務理事にご参加頂いた事から、会員と執行部の直接の意見交換の場となり、従来の執行部運営にあった説明不足や会員の理解不足を払拭するコミュニケーションが図られ、経営士会の改革に期待を感じる有益な時間となりました。（報告者：渡辺良男）

埼玉支部活動報告

埼玉支部の「経営革新計画」への取り組みについて

埼玉支部の環境経営研究会（代表：高橋洋子）の主催で、埼玉支部共催の第2回経営改善塾が8月17日（水）と8月30日（火）の両日、川口市の会場（かわぐち市民パートナーステーション会議室）で開催されました。

経営改善塾では関東経済産業局と埼玉県産業労働部の協力を頂き、それぞれ次の基調講演を頂きました。

- ・関東経済産業局：国の省エネ関連補助制度
- ・埼玉県産業労働部：経営革新計画承認制度

埼玉支部では、この経営改善塾の経験を生かし、今後このうち「経営革新計画承認制度」の支援を推進することにしました。

本稿では「経営革新計画承認制度」の支援について紹介します。

埼玉県では上田知事を筆頭に「経営革新計画承認制度」を推進しており、平成27年度には760社を超える事業者に対して「経営革新計画」を承認しました。これは都道府県の中で、東京都を抜いて第1位となり、引き続き今年度以降も推進して行くことを決めています。ここで埼玉県の「経営革新計画承認制度」を簡単に紹介します（埼玉県公式Web抜粋）。

埼玉県では、中小企業等経営強化法に基づき、経営革新計画を承認しています。

承認されると様々な支援措置を利用することが可能となり、事業者の皆さまの業績拡大向上が期待されます。

同法では、経営革新を「事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ること」と定義しています。「新事業活動」とは、4つに類型された「新たな取組み」をいい、「経営の相当程度の向上」とは、「付加価値額」及び「経常利益」の増加をいいます。

1. 新商品の開発又は生産
2. 新しいサービスの開発又は提供
3. 商品の新たな生産又は販売の方式の導入
4. サービスの新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動

上記の経営改善塾では埼玉支部の豊田賢治会員が、実際に「経営革新計画」の支援を実施した事例を発表され、その中で「経営革新計画」のメリットを説明されました。

＜経営革新計画が承認された事業者のメリット＞

- ・公的支援を受けやすい
- ・金融機関からの資金借り入れが得やすい
- ・中期計画を立て、実行する習慣がつく

これを基に埼玉支部は、「経営革新計画」の支援を強化することにしました。

＜セミナー企画＞

埼玉支部は、「経営革新計画」を申請したい事業所を支援する専門家を養成する講座を企画しています。

講師：豊田賢治会員

日程：10月1日（土）、8日（土）2日間

場所：さいたま市文化センター 第2集会室（南浦和駅徒歩7分）

（文責：小西洋三）

近畿支部活動報告

福井地区研究会平成28年度第1回開催結果

日 時：8月20日(土)13時30分～16時

会 場：ふくい県民・活動ボランティアセンター

出席者：酒井支部長、鑄方会員、北原会員、山下幹事、小松会員、会員外(福井)1名

演 題：「価値創造から始まる未来～文化と固有価値のまちづくり～」

講 師：小松晴夫会員(経営学修士・経営士・税理士)

これまでに関わられたあるいは進行中の、まちづくりやコミュニティビジネス関連の福井県内及び滋賀でのプロジェクトの体験に基づく。現行資料の配布は数種も。受け皿として組織整備にも及ぶ実践的提案の一方で、理念面での総括もあり、好評だった。

次に、行事予告にあった山下博会員による「JR福井駅西側地区の再開発状況のこれまでの経緯を含む説明付案内」については、早目に来福されて事前に見ておられた方があったとの猛暑だったこともあり喫茶店での懇談に切り替えた。

スプロール現象が典型的に現れた要因分析と最近の修復状況を、小生が考えたネーミング「京金族」(福井の若者が買い物やレジャー等で京都や金沢へ行く)や当時の地元紙への寄稿文などを交えて解説した。あるいは、NHK教育テレビ「あすの経営」全国商店街シリーズでの福井駅前商店街リポーター担当や福井県大規模小売店舗審議会委員(知事辞令)の折、全国チェーンのフランチャイジー取り付け支援(経営士人脈による結実。立地サイト交渉もあった)等々に得た知見にも触れた。最近の中心街充実の動きには協力をしている。

さらには時間切れになったが「地域鉄道を活かした新たな街づくり」について資料や管見を用意していたが、問題提起にとどめた。地元私鉄の経営危機への自治体、市民団体の支援、相互乗り入れ(県内私鉄2社。願わくば総合的環状化へ)及びJR福井駅への乗り入れは完了している。10月の全国研高知大会では、経済評論家の三橋貴明先生が類似テーマで基調講演をされるようだ。(支部幹事、会員番号1849山下博・記)

経営士の提言募集

日刊工業新聞への掲載原稿募集

日本経営士会並びに「経営士」の活動をPRする絶好の機会になりますので、会員各位の積極的な寄稿をお待ちしています。執筆の要領は下記の通りです。

内容：テーマは自由です。

社会、産業界、行政等に対する提言・提案を執筆して下さい。

字数：900文字(末尾に氏名と電話番号を記載)

紙面掲載：毎週木曜日

原稿作成：ワードで原稿を作成の上、メールで本部事務局までお送り下さい。

メールアドレス(office@keiseishikai.com)

★掲載内容は日刊工業新聞の編集部が決定します。

台灣支部活動報告

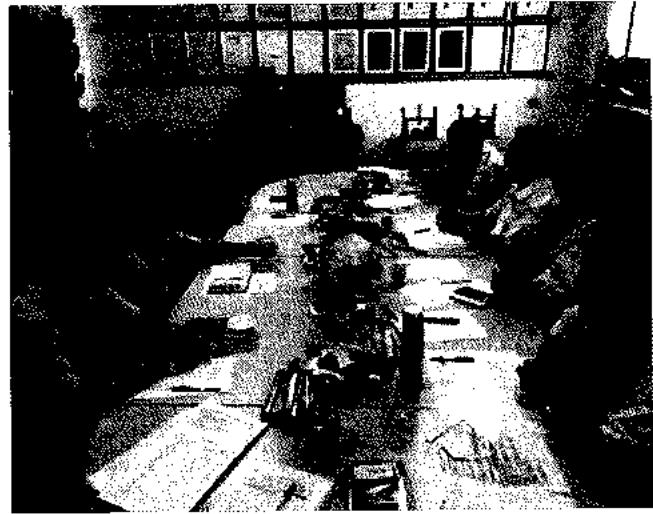
■MPP研究会報告

[1. 台北支會]

ケーステーマ：社長の悩み解決方法の選択について
開催日：2016年7月28日 18時～21時
参加者：6名
会場：台北 群泰企管顧問会社

まず、7月の例会 MPP 討論会の始め、お亡くなりました劉成基先生に対して、一分間の黙祷を捧げました。

つづきまして、今回のケースである社長の悩み解決方法の選択について、いろいろ切り口から討論と交流を行いました。まず後継者の選択について、各有力な候補者の資質および能力等の要素についていろいろ分析と検討を行いました。更に従業員の能力評価システム構築の具体的な方法について深く討論し、動機付けに有効なやり方を議論し、より合理的な解決方案を考え出しました。最後には、企業と地方とのネットワークを作り上げの諸問題を巡って、永続経営の戦略から新事業の発展性まで深く話し合い、充実的な勉強会となりました。



[1. 台中支會]

ケーステーマ：ケース1.H製菓会社の経営戦略と組織体制
 ケース2. 経営者の決断
開催日：2016年7月30日 9時～16時
参加者：8名
会場：台中 茂綱株式会社

当日は8名の参加者で、二つのケースについて活発な討論と交流を行いました。

まずケース1について、製菓会社事業経営の戦略策定に対して、商品開発能力の向上と差別化の諸問題を巡って、業界の連携からネット販路の発展まで討論しました。
一方、ケース2について、経営の資金管理及び保証人の妥当性に関するリスク管理と企業合併の選択等の核心問題を深く交流し合い、盛況な会となりました。

インフォメーション

第43期 経営士養成講座開催のお知らせ 本部・東京支部共催

一般社団法人日本経営士会では次代を担う経営コンサルタントを養成します！

- ◆開催日：基本的に隔週土曜日、全9回
11月19日開講、12/3、12/17、1/14、
1/28、2/4、2/18、3/4、3/18修了式
- ◆会場：一般社団法人日本経営士会 本部会議室
(東京都千代田区二番町12-12B.D.A.二番町ビル5F)
- ◆受講料：150,000円(税込み)
- ◆お問合わせ：一般社団法人日本経営士会 事務局 田中洋子
TEL 03-3239-0691(代表)
E-mail office@keieishikai.com

研究会案内

【北関東支部】

*茨城県会月例会

10月8日(土) 13:30~16:30

(月例研究会、経営士の提言等)

ひたちなか商工会議所

*茨城県会月例会

11月12日(土) 13:30~16:30

ひたちなか商工会議所

*北関東支部公開MPP(予定)

11月26日(土)~27日

新潟県会主管

【埼玉支部】

*CSR研究会

10月24日(月) 18:00~20:00

さいたま市シーノ大宮桜木公民館5F学習室

*BMキャンパス研究会

10月24日(月) 18:30~20:00

浦和コミュニティセンター10F第2集会室

名刺広告募集！

価格	会員	一般
カラー1面	35,000	50,000
モノクロ1面	20,000	25,000
モノクロ半ページ	10,000	15,000
モノクロ名刺サイズ	5,000	—

★連続で掲載の場合は2割引きです。
次回号では特に新年の名刺広告を承ります。
ぜひ掲載申込みをなさってくださいませ。

【TAMAマネジメント研究会】

10月7日(金) 14:00~15:00

10月22日(土) 14:00~17:00

11月26日(土) 14:00~17:00

(会場は、毎回、三多摩労働会館)

【一木会】

10月5日(水) 14:00~17:00

11月17日(木) 14:00~17:00

12月7日(水) 14:00~17:00

2月2日(木) 14:00~17:00

3月2日(木) 14:00~17:00

4月6日(木) 14:00~17:00

(会場は毎回、ホテルグランドヒル市ヶ谷)

新刊案内

著者：近藤肇(会員番号4250)

中部支部所属

著書名：フランツ・カ夫カ検索

発売：株式会社 三恵社

発売日：2016年9月4日

価格：1,500円+税

詳細：HPをご覧下さい。

[お知らせ]

1. 経営士手帳は本年度より配布を中止いたしました。何卒ご了承願います。
2. 本会と労働新聞社は業務提携をしました。今回同封いたしました労働新聞の購読申し込み等は業務提携の一環です。

全国・世界から 1,400 社が集結する日本最大級の異業種交流展示会

11th メッセナゴヤ2016

に本部・公益事業として中部支部が出展します。

2016年10月26日(水)~29日(土)

ポートメッセなごや (名古屋港金城ふ頭)

無料経営相談、経営士補及び環境経営士養成講座などの案内を実施

一般社団法人日本経営士会 中部支部

支部長 加藤 健二

中部支部・会員一同

事務所：名古屋市守山区天子田2-1402-502

☎052-618-6855

PR

残暑お見舞い申し上げます

この度の台風9号、10号により東北、北海道で甚大な被害に遭われました皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

一般社団法人日本経営士会千葉支部会員一同

〒275-0022 千葉県習志野市香澄 5-1-17

中日本ブロック理事・千葉支部長

西村 豊

平成28年9月

認定経営革新等支援機関

一般社団法人 日本経営士会 東北支部

経営士 MPP普及活動リーダー 経営改善支援アドバイザー

ブロック理事 支部長

佐藤 光子

(会員番号: 2358)

佐藤経営士事務所

〒994-0065 山形県天童市清池90番3

携帯: 090-8783-9721 TEL・FAX: 023-655-2578

E-mail PC: a_mitsuko@jp.bigplanet.com 携帯: pro-ject-m0619@docomo.ne.jp

PR

www.kanaami.biz

-N.N.N-

日本農工金網株式会社

経営士

山本正樹

〒700-0983 岡山県北区東島田町2丁目4-16

T E L 086-224-1245 F A X 086-224-1246

携帯 090-2009-5388

E-mail:ma-yamam@nihonnoukou.com

PR

認定経営革新等支援機関

一般社団法人 日本経営士会 九州支部長

経営士 環境経営士 MPP普及活動リーダー

アエル経営研究所 代表

西尾廣幸

事務所

〒859-0117 長崎県諫早市高来町峰465番地2

Tel・Fax:0957-32-3377

mail:nishio2403@io.ocn.ne.jp

PR



力エル革命

力エル革命塾

塾長

上野延城

〒110-0015

東京都台東区東上野6-5-11

クラウンハイツ401

電話 03(3843)2438

FAX 03(3843)2427

Email:kaerukakumei@jcom.zaq.ne.jp

PR

認定経営革新等支援機関
一般社団法人 日本経営士会

南関東支部
支部長

花上一雄

難問歓迎

問題解決

開設 1971年



花上グループ「社外人事部」
★社会保険労務士法人

併設団体 中小企業経営協力会

★人事情報システム株式会社

★オフィスサポート株式会社

〒246-0023

神奈川県横浜市瀬谷区阿久和東2-5-13

TEL:045-360-5560

FAX:045-360-5561

■E-mail: hanau@hanau.co.jp

■URL: www.senkousha.or.jp

PR

先人の知恵を高め、中小企業・小規模企業経営支援
経営革新 IT コンサルファーム

代表 経営士 畑 和浩
(神奈川経営支援センター長)
販路開拓マーケティング研究会 代表
支援型コンサルティング研究会 顧問

①経営体質改善

- ・資金(現預金)を増やす経営
- ・変動損益計算書活用
- ・製品毎の利益率を高める戦略展開
- ・営業力強化の経営
- ・経営革新・改善支援
- ・5Sの徹底で生産性を改善

③経営課題解決策支援

- ・問題解決プロセス
- ・戦略的問題発見の構想力を高める
- ・戦略的問題発見のスキル
- ・コーナリティ分析
- ・付加価値分析

マネジメント・プロフェッショナルチーム

- | | |
|------------|-----------|
| ・経営士 間 敏幸 | ・経営士 小守 孝 |
| ・経営士 大野信行 | ・経営士 津田 嵩 |
| ・経営士 小池基美男 | ・経営士 藤原義宏 |

②事業開発創業支援

- ・事業構想のサイクル
- ・新規事業創造につながる発想力の向上
- ・マーケティングとイノベーションの結合で経営革新
- ・新商品・サービスの開発支援
- ・海外事業展開
- ・マーケティングとイノベーション

④フロンティア人材育成支援

- ・経営の核となるフロンティア人材育成
- ・U理論による資質開発
- ・フロンティア人材の育成プログラム作成支援

経営士の皆様へ

1. **①経営体質改善** **②事業開発** **③経営課題解決** **④フロンティア人材育成**

4つのテーマ毎に出張研修を行っています。(講義、交通費・テキスト代は負担願います)

2. 研修用のテキストの提供 (一部 1,000円)

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| ・経営士人間学 | ・支援型コンサルティング技法 |
| ・ドラッカーに学ぶ中小企業経営の真髄 | ・問題解決のフレームワーク |
| ・事業構想講座 | ・問題の構造化と問題解決能力(経営コンサルティング能力向上) |

3. 全国研向け論文の作成・プレゼン・講演の研修

連絡・申込先

経営革新 IT コンサルファーム

住所:〒247-0056 鎌倉市大船 1-16-18 福美ビル 3F304号

メール hata.it-firm@kuh.biglobe.ne.jp FAX.0467-41-1492

PR



平渡コンクリート工業株式会社

企業理念

技術を練磨し、独自の製品を供給して地域の住環境整備に貢献し
信用の蓄積につとめ、会社の発展と社員の共栄をはかり、これを
喜び感謝する人々と共に運営する。

取扱製品

- › 基礎 foundation
- › 防草ブロック weed proof block
- › 一般製品 generic
- › 樹 tree
- › その他 etcetera

Quick Base クイックベース

見えないところに100年の安心！

〒326-0005 栃木県足利市大月町 934 番地
TEL : 0284-41-8732 FAX : 0284-41-8795
<http://www.hirawatari-con.co.jp/>
代表取締役 平渡 明

お問い合わせ

お気軽にお問い合わせ下さい

0284-41-8732

PR

Professional of the risk solution

リスクソリューションの プロフェッショナル



日本インシュアランスグループ株式会社 日本保険グループ

日本インシュアランスグループ株式会社は、生命保険・損害保険の取り扱いを通じて、クライアント企業に様々な経営ソリューション・リスクソリューションを提供する、保険のトータルカンパニーです。



車の保険

被害者への対人賠償および対物賠償やご自身や同乗者のケガ、所有する車の損害などの補償。



住まいの保険

自然災害による建物や家財の損害が補償される「火災保険」や地震・噴火・津波による「地震保険」など



旅行・レジャー保険

国内外の旅行、レジャー中のケガのほか、特約をセットすることにより賠償責任なども補償。



生命保険

定期保険や終身保険等の死亡保障をはじめ、老後の対策として個人年金や介護保険があります。



病気・ケガの保険

病気、ケガによる入院費用、手術費用、通院費用などの保障、またガン限定のガン保険など



法人向け商品

保険代理店としての実績と経験をベースに、企業の現状に合わせたリスクコンサルティング

取り扱い保険会社

- 東京海上日動火災保険株式会社
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- AIU 損害保険株式会社
- 朝日火災海上保険株式会社
- 日本生命保険相互会社
- アクサ生命保険株式会社
- ジブラルタ生命保険株式会社
- エヌエヌ生命保険株式会社
- 富士火災海上保険株式会社
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- Chubb 株式会社
- AIG 富士生命保険株式会社
- アメリカンファミリー生命保険会社
- メットライフ生命保険株式会社
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- セコム損害保険株式会社
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 日新火災海上保険株式会社
- そんぽ 24 損保保険株式会社
- 三井住友海上あいおい生命保険株式会社
- オリックス生命保険株式会社
- ソニー生命保険株式会社
- 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社
- 朝日生命保険相互会社



JIG
Japan Insurance Group
Co.,Ltd.

日本インシュアランスグループ株式会社

〒103-0013 中央区日本橋人形町 1-6-10 ユニコム人形町ビル 7 階

TEL.03-3667-7531 FAX.03-3667-7461

仙台支店 石巻支店 山形支店 古川支店 福島支店